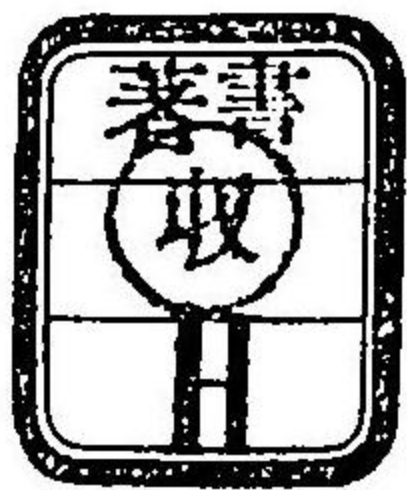


特69

38

佛國商法講義

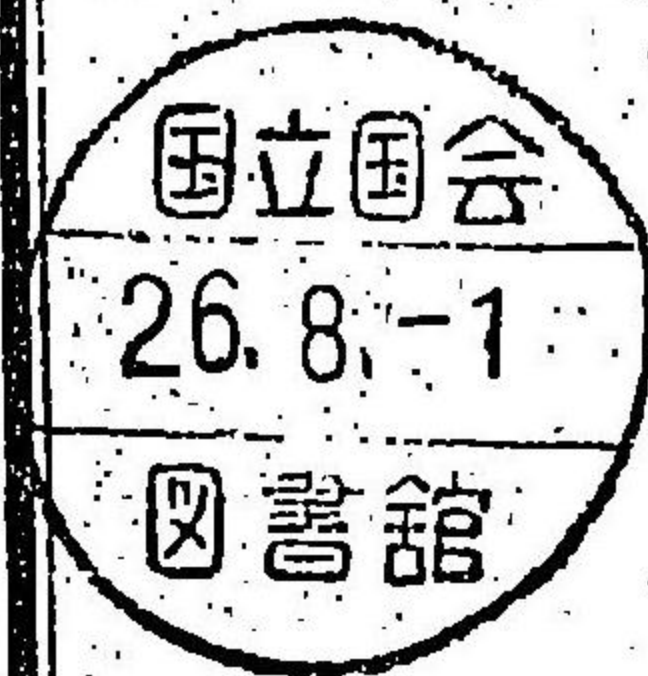
一



佛國デヨルダスケ氏講義

佛國商法講義

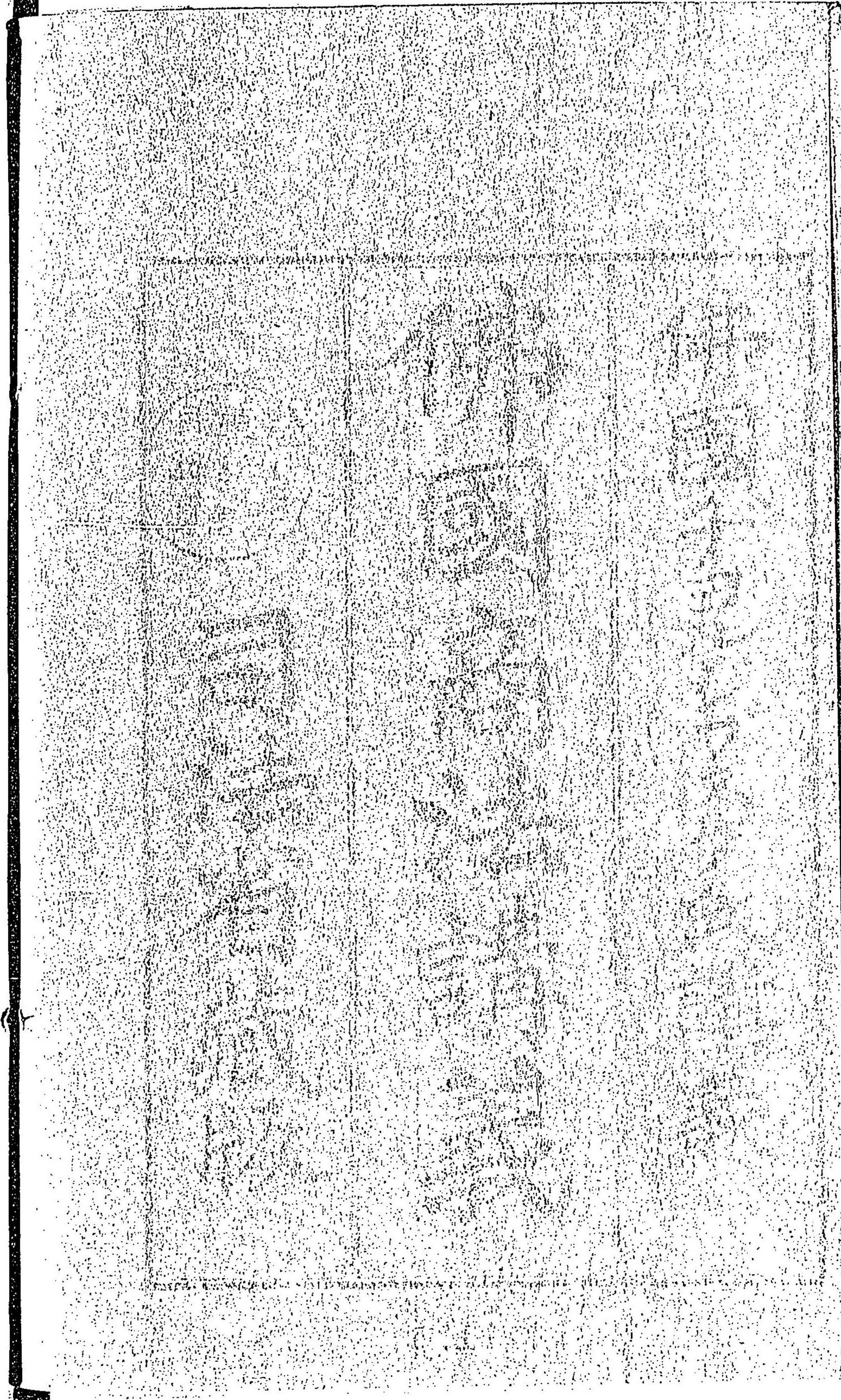
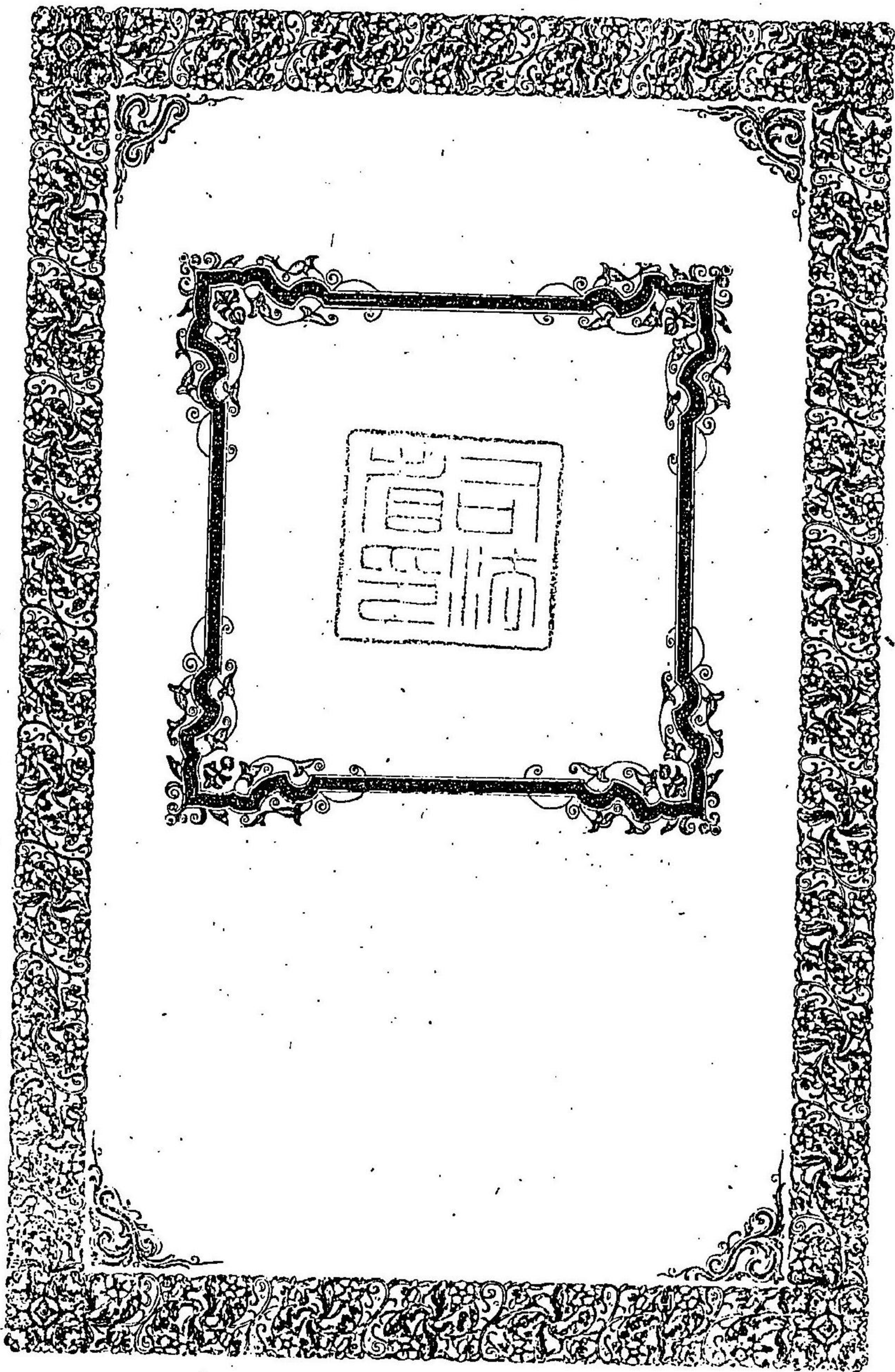
司法省藏版

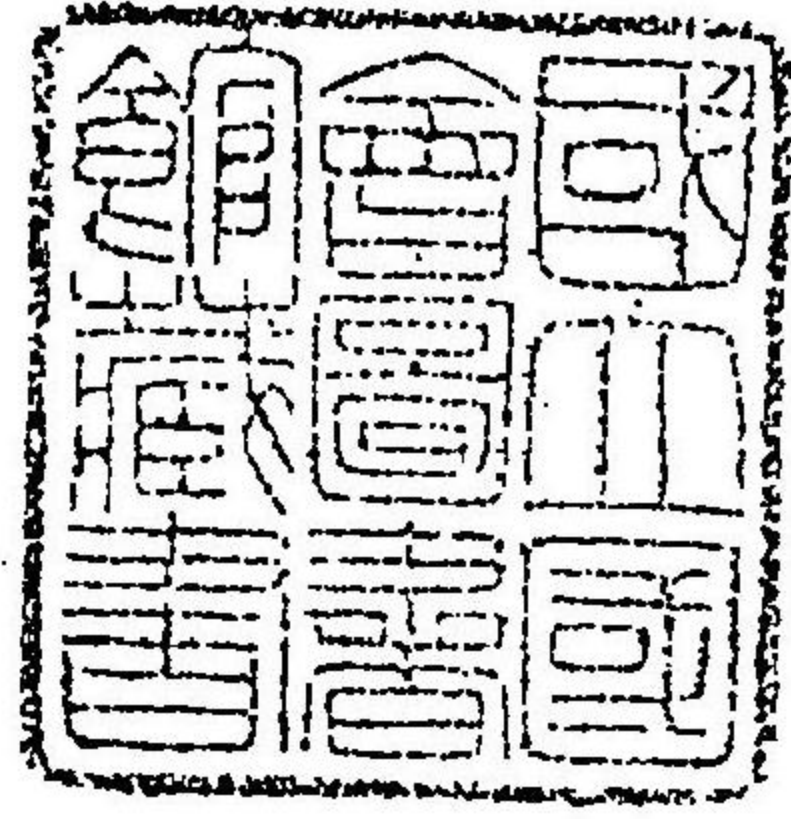


241141

特69

38





商法講義序

東洋諸國以農建國。至商則擴
以末業。故治之之法。不道征稅。權估而
已。如歐米諸國。則不然。專以商建國。
故治之之法。莫不具備焉。夫商於
兵也。以鳥合單進之衆。邀編伍第
制之師。縱令有詐謀詭計。得
勝于萬一。俛仰之間。豈不一奴隸地

蜂須賀家庫

乎。今也。我邦。互市之國。往者。超
出東洋。法國。而觀乎。可為。自古
稱。五音。大賈者。披其。破散。其家
資。咫尺之地。環堵之宅。且不能保。
况。編戶之膏。每一錢之資者。其可
謂。盲事者。非。賭博之為。則。盜賊
之為。多也。亦何怪於。其。受罪。隔刑
牢。若。吏。士。族。平生。所得。以。文

藝。所。修。則。武。伎。至。利。一。字。曾。不
物。言之。而。一旦。翻。然。為。商。業。此
以。不。教。之。民。戰。也。故。行。蓄。之。金。換
祿。之。資。一。舉。足。之。間。揚。然。而。聲
矣。嗚。呼。所。謂。取。乎。人。而。為。事。者。
適。是。取。邯。鄲。學。步。之。笑。耳。如。此
而。以。山。吾。未。為。其。所。為。也。我。司
法。者。夙。延。歐。米。學。以。備。完。各。國

法律一以備參照。余嘗書記之事。頃者佛一國首法海家。吳平卷。按行既成。將上梓。余竊以為。是書一出于世。人之體認。其意實得。利之為出于天性。無不可為之人。之德以多為速。為德為之。三事。為眼目。以施之。記傳。結社。德法之。習。則息令之。為為。編仔。多。進。意。為。

昔制。生家。向。當。如。權。括。括。打。可。然。則。亦。事。一。掃。在。法。國。之。隨。習。生。富。強。遂。駕。于。歐。米。之。上。亦。未。可。知。也。豈。獨。切。民。者。所。偽。百。出。以。隔。賄。博。盜。賊。之。為。而。已。矣。哉。明。治。八。年。五。月。

小田切威德撰序書



佛國商法講義卷之一

佛國控訴院代人ヂョルジブスケ講義

第一會 明治七年九月十八日

惣論

佛國ニテ未タ商法コトドヲ設立セザル時ノ景況ヲ説カントス
然ラザルヲ得ザル所以ハ舊法ノ此商法ニ編入

セザルモノアルヲ以テナリ
 舊法ニハ第千六百七十三年陸ノ商法ナルモノ
 アリ之レハ十四代ルイスノ命令ナリ海ノ商法
 ハルイス第千六百八十一年ノ命令ナリ
 右ノ内此商法コードニ反スルモノハ刑リ去リ
 適スルモノハ此商法コード中ニ存ス
 十四代ルイスノ命令中ニテ目今施行スルモノ
 ハ領事コンスルノ法等ナリ
 故ニ法ト云ヘハ此商法外ノ法アリト雖モ先ツ
 此商法中ニ就テ説カントス

佛ノ商法コードハ歐洲各國ハ勿論米國ニテモ
 行ハル故ニ此法ヲ知レハ全世界ノ法ヲ知ルト
 同シ

民法上ニテハ平人モ商人モ一般ニ行ヒ商法上
 ノトニ付テハ商法コードヲ用ユ縱令商人タリ
 トモ商事ニ關セザル分ハ民法ヲ引用セザルヲ
 得ス

商法ハ民法ノ増補ノ如キモノナリ民法ニ無キ
 一ハ此商法ヲ以テ治ム故ニ民法ニ在ル一ハ商
 法ニハ載セス

賣買ノ一ハ高法ナレバ既ニ民法ニ在ルコトハ此
 法ニ載セス
 高法中ノ一條ニ商事ニ關スルコトハ民法ノ賣買
 ノ部ヲ見合ヘキノ趣ヲ書イテアリ
 民法中ニ記載スル所ノ賣買ノ一ハ幾條ト定
 メスト雖モ其ノ篇ト部ヲ分ケタルモノアリ就
 テ見ルヘシ
 民法ハ常例ノ法律ナリ高法ハ非常例ノ法律ナ
 リ
 何故ニ非常例ノ法律ヲ立テタルヤトナルニ元

來認ムル所アリテ此一事ヲ善クセントスル爲
 メナリ
 之レヲ説カントス
 第一事ヲ多ク爲ス
 第二事ヲ速カニ爲ス
 第三事ヲ慥カニ爲ス
 此三事ノ目的ヲ遂クル爲メニ立テタルモノナ
 リ
 高法ノ規則ハ夥多ナリト雖モ其目的ハ此三事
 ニ外ナラス

先ツ多ク為スヲヲ説カニトス
 第一事ヲ多ク為スニハ資本金多カラサルベカ
 ラズ
 商ヲ為スモノハ必ラス一二萬圓ノ金ヲ所持ス
 ルモノニアラス仍テ其金ニ換ユルモノヲ作ラ
 サル可カラス
 一賣買毎トニ正金ヲ授受スルトキハ金足ラス
 故ニ商人ニテハ賣買ノ間ニ互^{クレバー}ヒノ信用ナカル
 ヘカラズ
 此信用ト云フハ民際ニモアリ譬ヘハ金ヲ貸

スニハ抵當物アレハ貸ス如キモノ之レナリ
 商法ノ信用ハ又一層ノ強カヲ有ス何トナレハ
 互ヒニ抵當物ヲ用ヒスレテ賣買ノ約束ヲ為ス
 ナリ
 即チ其人ノ心ヲ信用スルナリ其信用ヲ以テ金
 ニ代用スルナリ
 商人ノ信用ハ民際ノ信用ヨリ一層ノ強カヲ有
 スト云フニ徒ラニ信用ヲ強カラシムル能ハス
 故ニ其信用ヲ強カラシムル為メニ法ヲ立テタ
 リ

第二ハ其信心ヲ衆人ニ與フル法即チ出入帳
 リ其出入帳ハ商法裁判所ノ長官ヨリ一葉コトテ
 番号ヲ付テ華押ヲ画シ抽キ挿シヲナス能ハザ
 ラシム
 之レヲ自カラ抽キ挿シヲ為ストキハ衆人ハ信
 用セサルナリ
 故ニ商ヲ為スモノハ必ラス我カ為ストヲ一々
 其帳ニ記載セザルベカラス
 萬一事アルトキハ其帳ヲ裁判所へ出レテ證據

トナス

第三ハ社ヲ結ブハ肝要ナリ譬へハ三人ニテ金
 ヲ出レテ商ヲナレ其利ヲ分カツ又ハ社中ニ入
 ラズトモ資本金ヲ出レテ其利ヲ分カツ等之レ
 信用ヲ得ルモノナリ
 第三ハ為替手形ナリ
 夕トへハ長崎ニ人アリ金ヲ送ルニ正金ヲ以テ
 セスレテ手形ヲ以テス
 第四ハ家資分散ナリ
 之レモ信用ヲ増ス為メノ法ナリ何トナレハ金

ヲ借シタルモノ數人ニテ之レヲ分ケテ取レト
 キハ必ラス偏頗ナク取り戻スヲ得ルノ理アル
 ナリ
 之レニテ多ク為スヲハスミタリ
 以下ハ速カニ為スヲ説カントス
 第二事ヲ速カニ為スハ事ヲ多ク為スヨリモ肝
 要ナリ譬ハハコ、ニ物品ノ入用アリ之レヲ歐
 洲ヨリ取ルニ速ナレハ利アリ遅ケレハ機會ニ
 後レ其代價ノ下ル等ニテ利アラヌ故ニ速カニ
 スルヲ肝要トス

速カニ為スニハ契約ヲ速カニモサルベカラス
 民法ニテハ其法甚々遅シ譬ハ二人ニテ契約
 ヲ為スニ其二人面ヲ合セ證書正副二通ヲ記シ
 雙方ニテ印ヲ押ス等ノ手数ナリ或ハ公證人ノ
 面前へ出テ其證書ヲ記スルヲ等アリ
 第一ニハ商法ハ否ラス書翰一封ヲ以テ約束ス
 レハ即チ契約ノ成ルモノトス
 賣買上ノ契約ハ固ヨリ互ニ信用スルニハナ
 リ

第二ニハ金銀貸借上ニ付テハ又甚々速カナル

一アリ
 金ノ借リ替ヘ之ニナリ
 譬ヘハ甲ヨリ乙ヘ返ス金アリ又乙ヨリ丙ヘ返
 ス金アリ元來甲ト丙トハ關係ナキト雖其時
 甲ヨリ丙ヘ其金ヲ返シ又丙ヨリ乙ヘ返シテ濟
 ム如キ為替ノ法ナリ
 通常ナレハ甲ヨリ乙ヘ直チニ返サザルベカラ
 ズト雖尺右ニテハ遲キユヘナリ
 是レハ商法中為替手形ノ部ニ明瞭ナリ
 第三ニハ相場會社アリ之レ事ヲ速カニスルノ

目的ナリ是レハ政府ヨリ設立スル一箇ノ官衙
 ニシテ即チ商人ノ集會スル所トナリ
 何トナレハ互ニ相往來スルキハ時間ヲ費ヤ
 スト甚タ遲クレハナリ
 誰ニテモ其社ヘ行キテ入札ヲ以テ物品ノ價ヲ
 定メ其定マリタル時ニ之レヲ買フナリ
 第四ニハ商賈ノ代人ナリ是ハ民法ノ代人トハ
 違フナリ民法ニテハ代理ヲ為スノミニテ其本
 人ニハ始終關係スルナリ
 商法ハ然ラス譬ヘハ代人ニテ田舎ヘ行キ產物

ヲ買フ等ニ付テ田舎人ハ其本人ヲ知ラズト雖
 代價ノ顔ニ對シテ賣買ヲナス
 故ニ其本人ノ資本金ノ不足ナルトキハ代人ニ
 テ其代價ヲ拂フナリ
 縱令代人ニテ何事アリトモ本人ニハ一切關係
 セス
 之レ賣買ヲ早クスルモノニテ民法ノ代人ト違
 フ所ナリ
 此商買代人ノ辨別ナルヲ左ノ如シ
 譬ヘハ日本ノ司法省ニテ佛國ヨリ法律書ヲ買

フニ其代人ハ商人ニアラズ徃イテ司法省ノ買
 品ナリト云フトモ未タ代價ヲ拂ハザル間ハ危
 ブミテ其書籍ヲ渡サス然ルニ商人ニテ行キタ
 ルトキハ書肆ハ必ラス其書籍ヲ渡スナリ
 第五ニハ證據ヲ立ツルコトナリ
 民法ニテハ三十ドル以上ハ人ノ證據ガカルヘ
 カラズ
 商法ニテハ百萬ドルナリトモ人ノ證據ニ及ハ
 ス書翰ニテモ帳面ニテモ證據トナルベシト裁
 判官ニテ之レヲ思量スルモノナレハ足レリ

商法ニテハ自己ノ記載セル出入帳ニテ足レリ
如シ其帳ノ偽造ナルトキハ其刑アリ
以上ハ事ヲ速カニスルヲ説キタリ
以下ハ第三ノ目的タル事ヲ慥カニ為スヲ説
クニトス
第一ニ事ヲ慥カニ為スニハ相場會社ハ政府ヨ
リ命シタル官員アルヲ左ノ如シ
商業世話人
手形賣買世話人
右ハイッレモ賣買ヲナス即チ賣買ノ代人トナ

ルモノナリ

第二ニ事ヲ慥カニ為スモノハ

海上請合之レナリ

高法ノ期滿得免ハ五年ナリ

民法ノ期滿得免ハ十年ヨリ三十年ナリ

第一篇 總テ商業ノ事

第一卷 商人ノ事 第一條ヨリ第七條ニ至ル

是マデ説ク所口ハ商法ノ大綱ナリ以下ハ本文ニ就テ説カントス

第一條ニ凡ソ商賣ノ業ヲ行ヒ之ヲ以テ平常己レノ職分ト為ス者ハ商人ナリトストアリ此商人トハ酒一盃ヲ賣ルモノモ大ナル呉服店モ一切皆ナ商人ナリトス之レヲ分割シテ論スルトキハ

第一 商事ヲナス

第二之レヲ職業トナス

第三平生之レヲナス 時々ナスモノニハアラス

右ノ三ツヲ兼テ有スルモノヲ商人ト云フ一ツヲ欠クモ商人ノ名ヲ命セス

第一何レノ一ヲ商事ヲナスト云フトキハ民法

第六百三十一條以下見合スヘシ

民法第六百三十一條ニ商法ノ事ト書テアレト

モ右ニテハ十分ナラス

其商事ノ意ヲ説カントス

第一ノ商事ノ性質ハ雙方有利ノ契約ヲ云フ一

方ノ利益ノミニテハ商事ニハアラス贈遺ノ種
 類ナリ
 第二ノ商事ノ性質ハ佛ニテハ不動産賣買ハ商
 事ニハ入ラス只相場ヲ立ツヘキ動産ヲ賣買ス
 ルノミ商事ナリトス
 第三ノ商事ノ性質ハ物品ヲ賣買スル間ニ利ヲ
 得ルハ商事ノ肝要ナリ
 物ヲ買ヒソノ性質ヲ變ヒシメテ利ヲ得テ賣ル
 ヲナリ
 物ヲ買ヒテ我カ需用トナスヲハ此中ニ入ラス

物ヲ買ヒ之レヲ賣リ其間ニ利ヲ得ルナリ
 譬ヘハ葡萄酒ヲ買ヒ樽ニ入レ一年ヲ過キテ之
 レヲ賣ルニ其酒質ノ美ニナルユヘ高ク賣レル
 ナリ此レ商事ナリ然ルニ其樽ヲモ賣ル之レハ
 商事ニアラス何トナレハ此樽ハ固ト賣ル為メ
 ニ買フモノニアラサルナリ買フテ賣ルニアラ
 サレハ商事ニアラズ
 譬ヘハ葡萄ヲ園ニ植ヘ酒ヲ製シテ賣ルハ農事
 ナリ商事ニアラズ
 譬ヘハ畫師ニテ繚ヲ買ヒ之レニ画ヲ画キテ賣

ルニ此レハ商事ニハアラズ何トナレハ其縁ヲ
美ナラシメテ賣ルニアラス其画ニ價アレバナ
リ
此三ツニ入ルモノハ商事ナリ
第二其商事ヲ業トシテ平生間断ナク行フモノ
ハ商人ナリ
時アリテ商事ヲ為スモノアリ仍テ訴訟トナル
トキハ商法裁判所ニ呼出サル
是レハ商人ノ規則ヲ用ヒスレテ可ナリ平人ノ
商事ニ付イテ商法裁判所ニ呼出サルト同シ

トナリ

此商法コリドノ第一條ヲ作ルトキ人ノ承知シ
テノ字ヲ入レント思ヒタリシガ議論アリテ止
マタリ

第三之レヲ業トシ為サ、ルヲ得ズ

業ト為スト業ト為サ、ルハ知リ易キナリ譬
ハ農ヲ為シ米ヲ賣ルニ為替手形ニテ金ヲ受
取リタリトモ商事トハ云フヘカラス為替手形
ハ商事ナレバ金ノ都合ニヨリテ受取クルモノ
ニテ即チ農事中ニ商事ノ入リタルモノス故

ニ商業トハ云フベカラス
金ヲ貸シテ業トナスモノ又為替手形ヲ賣買ス
ルモノハ即チ商事ヲ業トスルモノナリ
之レヲ業トスルニ平生之レヲ為スト間斷アリ
テ之レヲ為ストノ間ニ於テ不審ヲ起シタルモ
ノアリ
タトハ開店ノミヲ為シテ物品未タ輸着セズ
又ハ未タ買人ノアラサル間ニ家資分散ト為リ
タルトキハ商人ト為スヲ得ハキヤト云フニ是
レハ元來商業ノ目的ニテ事ヲ起シタルニ一時

分散ト為リタルモノニテ其人ノ一心ハ既ニ商
事ヲ以テ業トナサント思ヒタルニテ其人即チ
商人ナルヲ分明ナリ

一人ハ商人一人ハ平人ニテ賣買ヲ為シタルヨ
リ訴ヲ為ストキハ之レハ何レノ裁判所ニテ裁
判スベキヤ

既ニ商法裁判所へ出テタル上ハ商法裁判所ニ
テ之レヲ裁判スルト雖其受理スル前ニ民法
裁判所へ商議ヲ為シ至當ノ裁判所へ呼出スナ
リ

問 其一方ノ平人ノ證ヲ立ツルトキハ民法ノ證ヲ以テスルヤ又ハ商法ノ證ヲ以テスルヤ

答 其平人ハ商法ノ證ハナキユヘ民法ノ證ヲ立ツヘキナリ商人ハ商法ノ證ヲ立ツヘキナリ

今日ハ何モノカ商人ナリキヲ説キタリ後日ハ何モノハ高ト為ルトヲ得ルヤヲ説カントス

第二會 明治七年九月二十二日

商人ナルト商人ナラザルトヲ區別スルハ何ノ為ナリヤヲ説カントス

商人ハ商法裁判所ニ呼ビ出サレ平人ハ民法裁判所ニ呼ビ出サル何トナレバ商人ハ平人ノ規則外ニ別段ナル規則アレバナリ

商人ハ出入帳ヲ所持セザルヲ得ガ又家資分散トナラザルヲ得ス

此ニツハ獨リ商人ノミニ用ヒラル、ナリ商人ノ婚姻ヲ為ストキハ其婚姻ノ契約ヲ布告

ヤザルベカラス
 其契約ハ財産共通ナリヤ財産不共通ナリヤ財
 産分別ナリヤ嫁資分括ナリヤ
 平人ニ於テハ夫ト婦トノ契約ノミニテ足レリ
 布告スルニ及ハス
 婚姻ノ契約ニハ種類アリ他人ニテハ其財産云
 ヲヲ目的トナシテ交接スルナリ
 布告トハ契約書ヲ裁判所ヘ貼出スルヲ云フ
 之レヲ為スハ商人ノ義務ナリ平人ノ有ヤスニ
 テ商人ノ有スル權アリ商法裁判所ノ裁判官ハ

政府ヨリ命スルモノニアラス商人集會ヲ為シ
 テ商人中ヨリ選舉ス之レ商人ノ權ナリ
 商人集會シテ其中ヨリ選舉スルハ格別ナル
 ナリ何トナレハ商法裁判所ハ別人ノ入ラザル
 所ニシテ一般ノ法律ヲ以テ決シ難ク商事ノ慣
 習ニヨリ決スルコトアリ又數或ハ量ノコトニ付テ
 ハ一般ノ裁判官ノ知リ難キコトアルユヘナリ
 商法コード中ニ記載セザルコトヲ取扱フハ各地
 ノ景況ニヨリテ相違多シ右ヲ其地ノ景況ニヨ
 リテ決スルハ即チ商法コードノ旨意ナリ

相違アルトハ譬へハ通常ハ物品十箇ノ價幾許ト定メタリトモ一箇ヲ益シテ十一箇ヲ賣ルノ地アリ此等ハ法律書中ニハ記載シ難キナリ譬へハ横濱ニテハ絹ヲ賣ルニ紙ニ包ムナリ其縮夥多ヲ集ムレハ其包紙ノ量モ夥多ナリ然レトモ其包紙ノ量ハ即チ絹ト為ルト云フニハアラズ之レ風習ノ然ラシムル所ナリ右等ノ如キハ知ラザルモノハ裁判スルコト能ハス法律上ニ於テ商人ノ一身中二人アリト見做サザルヲ得ズ商事ヲナスニハ商人ナリ民事ヲナ

スニハ平人ナリ譬へハ商人ニテ不動産ヲ賣買シ又ハ婚姻ヲ為シ又ハ養子ヲ為ス等民事ヲ為ストキハ即チ平人ナリ商人ヲ二人ト見做スト雖其為ス所口商事ナリヤ民事ナリヤノ疑ヲ生シテ決シカタキトアリ其時ハ其身分商人ナルニ付キ商事ト定メ可シ第一商人ノ出入帳ハ商事ヲ記スヘキモノナリト雖ハ民事ニ關スルコトヲモ記入スルナリ財産ノ贈遺又ハ諸器物ヲ買フニ付キ借リタル金等

總テ日々ノ出入ヲ記入スルナリ
第二家資分散ノトキ商事ノ金ト民事ノ金ト區別ヲ立テス惣テ平等ニ配分ヲ為スナリ
一例ヲ舉ケン
商人ノ家資分散トナリタルトキ遺物相續ヲ受ル場合ニ於テソノ金額ヲ出入帳ニ記載ス之レ則チ民事商事相混スル所ナリ
譬へハ一人アリ商事ニ付キ五萬圓ノ借財アリ其時遺物相續ヲ受クルニ付キ二萬圓ノ入金アリ之レ民事ナリ然ルニ其人遊獵シテ誤ツテ人

ヲ疵ツケ二萬圓ノ償金ヲ拂フヘキトナル此レ亦タ民事ナリ然ルニ民事ニ付テノ金ハ民事ニ拂フヘレト云フトキハ其相續ノ二萬圓ハ民事ノ償金トナリ商人へ拂フヘキ五萬圓ハ商事ニ拂ヒテ其配分スヘキ金ハ一錢モナシ此ノ如ク不公平ノ配分トナル此レ民事商事ヲ區別セスレテ記載スル所以ナリ
商人ニハ何人ノ之レニ為ルヲ得ルヲ説カン
トス
商業ハ性法ニ出ツルモノニテ各自ノ自由ナリ

トスト云フハ原則ナリ人生レテ物ヲ賣買シテ
 然ノ道理ナリ故ニ何レノ國何
 人ニテモ之ヲ為レ得ヘシ
 舊法ハ死人受ケタル死ノ刑ヲニテモ之レニ為ル
 得ルモノトス
 然ルニ各國取締ノ法ニヨリ何人カ之レニ為ル
 得可キ何人カ之レニ為ルヲ得ヘカラザル
 ノ法ヲ生ス故ニ其事柄ニヨリ又ハ其人柄ニヨ
 リテ政府ヨリ規則ヲ立ツ
 事柄ニ付テハ無名會社ナルモノアリ之レヲ結
 ハントスルトキハ私レニ立ツル得ズ其規

則テ政府ヨリ許サレハ為ス得ズ

銀行ヲ設クルトキハ之レヲ政府ヨリ立ツ之レ

ハ諸方ヨリ集金スルユヘ正シキ人ヲ以テセザ

ルベカラサレハナリ

トシテ會社數人集マリテ毎年金ヲ出レ長ク

ナナルモノアリ今ハ無シ之レモ政府ヨリ許サ

ナレバ為ス得ス

千人會モ政府ノ許可ナクシテハ為ス得ズ

書肆又ハ活版肆ハ政府ノ許可ヲ受ケザルベカ

ラス之レハ政府ヨリ着目セザ

人柄ニ付テハ「ア」ジャンドシヤンジュハ商事中
ノ世話人ナルユヘ私慾ヲ為スヲ恐ル、為メ商
事ヲナス「ト」ヲ禁セラル、ナリ之レハ政府
ノ官員ナリ
代理人「カ」之レハ「ア」ラズ其他代書人「カ」公證人使吏等裁
判函ニ關スルモノハ商事ヲ為ス「ト」ヲ得ス
以上ハ法律上ニ於テ之レヲ禁ズ
其他地方官等ハ法律上ニ於テ商事ヲ禁セスト
雖「ハ」之レヲ為ストキハ必ラス其職ヲ免セラル
商事ヲナス「ト」ヲ得スト云フハ為ス「ト」能ハザル
ニハ「ア」ラザルナリ之レヲ禁ズルナリ

其他禁ゼスシテ自カラ為ス「ト」能ハザルモノ「ア」
リ幼童ノ如キ商事ヲナスニ之レハ商事ニハナ
ラスト裁判ス

官員中ニ於テ商事ヲナスニ之レヲ禁ズルモノ
ナルユヘ其職ヲ免セラル、ト雖「ハ」其商事ニハ
効アリトス幼童ノ為メ商事ハ其効ナシ
不能カノモノハ商事ヲナス「ト」能ハザルモノ「ト」
ス商事ノ契約ヲ始メ為ス所「ト」皆効ナシ
不能カノモノ「ト」ハ幼年ノモノ「ト」既ニ婚セシ婦
ト「ト」ニツナリ

其二ツノモノ、商事ヲ為スル能ハザルハ各別ノ理アリ

幼年ノモノハ知覺足ラス才能ナシ故ニ能ハス既ニ婚セシ婦ハ知覺才能ナシト云フニハアラズ婦ハ夫ノ命令ニ従フモノナルユヘ之レヲ自カラ爲スヲ得ザルナリ

問 官員ヨリ平民ニカ、ル負債ハ取ルヲ得サルモ平民ヨリ官員ニカ、ル負債ハ取ルヲ得ベキヤ

幼年又ハ既ニ婚セシ婦ノ貸シタル金ハ効ナ

シト消滅スヘキモノニ非ズト思フナリ如何

答 幼年ノモノ、為シタル契約ハ其効ナレ

但シ幼者ノ便益ト為ルコトハソノ効アリ

問 事柄ニ付テ之ヲ立テ人柄ニ付テ之レヲ立ツルハ商事ヲ保護スル為メカ又ハ一國ノ為メ立テタルモノカ

答 其目的ハ種々アルナリ

譬ヘハ銀行又ハ會社等ハ其會社ノ為メニ立テタルモノナリ
活版書肆等ハ政府ノ為メナリ

官員等ハ政府ノ為メニ費ヤス時間ヲ自己ノ為
 メニ費ヤス等ノ宜シカラサルヲアルユヘ政府
 ノ為メニ立テタルナリ
 裁判官ノ一ハ第七百九十一年裁判所改革ノ
 時ニ立テタル法ナリ
 他ノ官員ノ一ハ法律ニハ記載セス
 幼者等ハ其人ノ為メニ立テタルモノナリ
 幼者ノ商事ヲ為スト能ハスト云フハ法律ニ定
 ノタル定限アリト雖モ其人ニヨリテ其禁スル
 定限内ニアリト才能拔群ノモノアリ又ハ家業

ノモノ其父ノ老ヒタル片等ハ其禁ノ定限ヲ緩
 ルメザルヲ得ザルナリ之レヲ如何レテ可ナル
 幼者ノ商事ヲナスニハ第一後見^{エグゼクティブ}ヲ免^レカルベレ
 其時ハ財本^{アクトアドミニストラレオン}ノ支配人アリテ其財本金并ニ財本
 トナルベキ物件ヲ動カス可能ハズ只其利金ヲ
 動カスヲ得ルノミ
 後見ヲ免カレシ幼者ハ不動産ヲ賣買スルヲ
 得ズト雖モ之レヲ貸借スルヲ得ル自カラ運
 動スルヲ得ルモノハ只々其利金ノミ
 第二ニハ十八年以上タルベシ

民法ニ於テハ十五年ニ至レハ後見ヲ免カル、
 一ヲ得ルト雖氏高法ニ於テハ十八年ニ至ラサ
 レハ免カル、一ヲ得ス
 第三ニハ父ヨリ許諾ヲ得ザレハ商業ヲ為ス
 一ヲ得ス
 後見ヲ免カレタルト十八年ニ至レリト雖氏其
 父ノ許諾ヲ得ザレハ能ハス之レハ親族中子ヲ
 知ルハ父ニ如クハナキヲ以テナリニ祖父又ハ母
 一ヲ與フル
 一ノ權ナシ
 父ノ失踪死去又ハ重病等ニテ知覺ナキトキハ

母ノ許諾

父母トモニアラザルトキハ親族會議ノ上其許
 諾
 親族ハ父母ヨリ疎ナルニ其會議ノ趣旨ヲ
 裁判所へ申シ其允許ヲ得ヘシ
 其裁判所ハ民法裁判所ナリ高法裁判所ニアラ
 ズ
 第四ニハ許諾ヲ布告スベシ
 許諾ノ證書ハ公正ノ證書ナリトモ私ノ證書ナ
 リトモ妨ケナシ之レヲ高法裁判所へ貼出スヘ

241141

幼年ノモノニテ商業ヲ為スニハ合セテ四ツノ義務アリ

〔一〕後見ヲ免カル

〔二〕十八年ニ至リタル後

〔三〕許諾ヲ受ク

〔四〕裁判所へ貼付ス

之レヲ為セハ商人ナリトス

縦ニ商人ニアラズトモ為替手形等ノ如キ商事ノ一ツヲ為スニモ右ノ四ツノ義務ヲ為リミル

ベカラヌ

フスケ「案スルニ此ノ如ク法ヲ立テタリト雖

天第三條ニ記スル等ノ場合ニ於テ商事中ノ一

タル為替手形ヲ為スモノニ於テ此ノ如キ裁判

所へ貼付スル等ノ所為ハ理、當ラサルトナ思

フナリ但シ古キ法ナレバ目真ニ商業ヲナスモ

ノハ天下ニ布告スルモ可ナリ

第三會

明治七年九月二十七日

過日ハ幼年ノモノ商業ヲ為スニ付キ許諾ヲ得ルヲヲ説キタリ今日ハ幼年ノモノ許諾ヨリ生スルヲヲ説カントス
 元來幼年ノモノ許諾ヲ得レハ丁年ノモノト同ジ
 尋常ノヲハ否ラス只々商事ニ關スルヲノミナリ
 幼年ノモノ許諾ヲ得レハ丁年ノモノト同シトハ云ヘ氏區別アリ

一般ノ商業ノ許諾ヲ得レハ何事ヲモ為スヲ得ルト雖氏其許諾或ハ醬油商又ハ紙商ナリト制限アル許諾ナレハ他ノ商業ニ付テハ丁年ノモノト同シカラス
 故ニ其制限アル商事ノ許諾ナレハ其商事ノミヲ為スヘシト雖氏民法中ニ於テ丁年ノモノハ為ス事ヲ為スヲ得ル
 譬ヘハ其商事ノ為メニハ不動産ヲ質入レトナスヲ得ルナリ但シ賣ルヲ得ス
 不動産ヲ賣却スルトニ付テハ民法ノ手續ヲ為

サ、ルヲ得ス此ノ如キ人ハ一人ニシテ二人ナ
 ルカ如シ商事ニ付テハ能力アリ民事ニ付テハ
 能力ナキナリ
 幼年ノモノ、為ストニ於テ此レハ商事此レハ
 民事ト直チニ區別スルヲ得サルトアリ
 譬ヘハ金ヲ借ルニ其證書ニ商事ニ付テ借ルノ
 文面アルトキハ即チ商事ト認ムルナリ
 然ルニ只々金ヲ請取リタリトノ文面ノミナル
 トキハ民事ノ為ノカ又ハ商事ノ為ノカ不分明
 ナリ右ノ場合ニ於テハ其人ハ幼年ナリ商事ヲ

為マハ非常ノコトナリ仍テ民法ヲ以テ裁判ス可
 シト云フ説アリ
 又一説ニハ既ニ商人ナリ商法ヲ以テ裁判スベ
 シト云フ説アリ此ニ説何レニ從ハシヤ
 幼年ノ人ノ為替手形等ニ於テハ民事タルノ説
 多シ
 大審院ニテハ商事ナリト定ム
 其原因ハ商法第六百三十八條ニアリ
 此第六百三十八條ハ幼年ノモノ、為メニ云フ
 モノニハアラズト雖モ商人ノ姓名ヲ手署シタ

ル為替手形ニ云々ハ此等ノ為替手形ヲ商業ノ
 為メ記シタルモノトストアルヲ以テ之レヲ商
 事ト定ムルナリ
 幼年ノモノハ許諾ヲ與フルハ其人ニ才能アル
 ヲ以テノヲナリ萬一其人瘋癲又ハ其他ノヲニ
 テ才能ノ消亡セシトキハ其許諾ヲ奪フテハ法
 律ニ書イテハ無シト雖モ之レヲ奪フノ道理ア
 リ其之レヲ奪フトキハ即チ許諾ヲ與フルトキ
 ト同一ノ手續ヲナスベシ
 此レ裁判所ノ成規ナリ

其手續ヲナサレハ諸人ノ誤認ヲ引起シ仍テ
 困難ヲ生ス

第六條ニ不動産ヲ書入質ト為スヲ得ルト記
 シテアリ此レハ第三條ノ下トハ違フナリ
 第三條ニ記シタルモノハ全ク商人ト為ルニア
 ラズ偶然ニ商事ヲナスヲ云ヒタルモノナリ
 故ニ第六條ノ下ハ此條ノ中ニ入ル、下能ハズ
 尤モ第三條タリトモ其一事ニ付テハ許諾アリ
 ト雖モ商人ト為ルニ非ザルユヘ不動産ヲ質
 入トナスノ權ハ無シ

以上ハ幼年ノモノヲ云フ
 以下ハ既ニ婚セシ婦ノトヲ説カントス
 幼年ノモノハ自然ニ不能力ナルモノナリ婚セ
 シ婦ハ元ト不能力ニハアラズ其夫ヲ敬シ其夫
 ノ權ニ関セサル為メニ法律ヲ以テ不能力トナ
 シタルナリ故ニ夫ニテ商事ヲ為ストヲ許諾セ
 シトキハ之レヲ為ストヲ得ヘシ
 幼年ノ婦ノ既ニ婚セシモノ商事ヲ為ストキハ
 幼年ノ婦ノトト既ニ婚セシ婦ノトトニツノ義
 務ヲ行ハザルベカラス

幼年ノ婦ハ

一 後見ヲ免カレタル上

二 十八年ニ至リタル後

三 許諾ヲ受ク

四 裁判所へ貼付ス

婚セシ婦ノ義務ハ以上四ヶノ義務ノ上更ニ夫

ノ許諾ヲ得ヘシ

先キニ一般ノ商人ト為ルト商事ヲ為ストヲ區

別シテ説キタリ

婦ニ付テモ此ノ如クニツニ區別セサルヲ得ス

幼年ノモノ、一事ノ商事ヲ為スニ付テハ商人ト為ルト同ジキ義務ヲ盡ス、ハ第三條ニ説ク所口ノ如シ
婦ノ一事ノ商事ヲ為スニハ民法ニ從フテ之レヲ為ス
民法第二百十七條ニ謂フ如ク夫ノ許諾ナクシテハ賣ル、モ買フ、モ贈遺ヲ為ス、モ贈遺ヲ受クル、モ之レヲ為ス、モ得ス、但シ婚姻ノ契約中ニ之レ等ノ、モ許シタルトキハ格別ナリ
即チ此條ヲ以テ之レヲ為ス

此レ幼年ノモノ、為ス所口ト異ナリ
此レハ婦ノ一事ノ商事ヲナス、モナリ、商婦トナルニハ第四條ニ謂フ所口ニ從フ
民法第二百十七條ノ許諾ハ書付ヲ以テス
此第四條ハ書付ニテモ口演ニテモ又ハ黙許ニテモ妨ケス、此レハ元來不能力ノモノニアラサルユヘ夫ノ許諾ヲ得レハ為ス、モ得ルナリ
此所口ニ議論アリ
婦ノ商事ヲ為ス、モ夫ニテ黙許ヲ為スハ親睦ノ夫婦ノ、モナリ

萬一反目ノ夫婦ニテ別居ヲ為ス等ニ於テハ夫
 ニテ書付ケテ以テ許諾ヲ與フルヲハアルマシ
 キナリ
 民法ニハ夫ノ許諾ヲ與ヘサルトキハ裁判所
 許可ヲ以テ為ストヲ記シテアリ商事ニテモ此
 ノ如ク裁判所ノ許諾ニテヨロシキヤ如何ノ論
 アリ
 右ニ付テハ種々ノ説アリ
 巴里中ノ諸裁判所ノ説ト大審院ノ説トハ違フ
 ナリ

大審院ノ説ニハ民法第二百十九條ニハ夫ノ許
 可ヲ為サザルトキハ裁判所ニテ許可ヲ為スト
 アルニ付イテ説ヲ立ツ譬ハ一事ヲ為スニ其
 裁判所ヨリ許可ヲ為スノ權アリ商事ハ一事ヲ
 合セタルモノナリ故ニ之レヲ許可スルノ權アリ
 ト云フ
 又一説ニハ婦ノ商事ヲ為スモノハ才能アルモ
 人ナリ其人商事ヲナサバハ活計ノ立チ難キ
 トキ其夫ノ意ニ適セズトシテ許諾ヲ為サザル
 トキ裁判所ニテ之レヲ許可セサルハ正理ヲ得

ルモノニアラズ故ニ之レヲ許諾シテ可ナリト云フ
 巴里ノ諸裁判所ノ説ハ夫ノ許諾セザルモノハ
 裁判所ヨリ之レヲ變スルコト能ハズト云フ
 法律家ノ中ニテハ此説多シ
 グラスケ案スルニ此説可ナリト思フナリ
 第一ニハ民法ノ第二百十八條ニ夫ノ許可ヲナ
 サバルトキハ裁判所ニテ許可スルコトヲ説キタ
 リト雖モ民法ノ許可ト書キタルモノハ高法ノ
 許諾ト書キタル語トハ違フナリ

許可ハ其為スベキノ權アレバ之レヲ押ヘタル
 モノヲ許スノ意ナリ
 許諾ハ承諾セリト云フコトナリ許可ハ裁判所ニ
 テ之レヲ為スヘシト雖モ夫ノ承諾セサルコトヲ
 裁判所ニテ其夫ニ代リテ承諾スルコトハ為ス可
 カラザルナリ
 右ハ文字上ノ議論ナリ
 第二ニハ民法ノ第二百二十二條ニ云フ所コトハ
 夫婦財産共通ノトキハ婦ノ為スコトハ惣テ夫ノ
 財産ニ關スルトアリ

婦ノ一事一事ヲ為スハ其際限アルモノナレド
 一般ノ商業ニ於テハ何事ヲナスヤヲ知ルヘカ
 ラズ仍テ其夫ノ財産ニ関スルハ大切ナルヲナ
 リ夫ノ損益ノミナラズ夫ノ名譽ニ關スルヲモ
 アリ如シ妓院ヲ營スル等ニ於テハ夫ノ名譽ニ
 関スルナリ然ルヲ其夫ノ許サ、ルヲ以テ之
 レヲ裁判所ヨリ許スノ理ナレ
 第三ニハ民法第二百二十九條ニ一事ヲ為スニ
 裁判所ヨリ許可ヲ與フルヲ記シテアリ
 此一事ニ付テハ其事柄ヲ裁判所ニテ之レヲ吟

味シテ其子ノ學業ノ資金等ヲ其夫ノ之レヲ出
 サツルハ理ナシト思フトキノヲナリ
 右ニ反シテ一般ノ商業ニ付テハ如何ナルヲ
 為スヤ如何ナル人ト接スルヤ仍テ起ル困難ヲ
 夫ニ加フルヲアルヤモ料ルバカラズ然ルヲ裁
 判所ヨリ許諾ヲ與フルハ理ナシト云フ
 夫ニテ奸通ヲ為シタルニ付キ婦ニテ別居ヲ為
 レ居ルモノアリ其財産ハ不共通ナリ其時婦ニ
 テ商事ヲ為サントスルトモ夫ニテハ之レヲ許
 諾セス其時ニテモ裁判所ニテ之レニ許諾ヲ與

ハザルハキヤ
 此ノ如キ論多シ仍テ巴里ノ大審院ニテ前説ヲ
 立テタルナリ
 此ノ如キ夫ハ惡心ナルモノユヘ其婦ヲ保護ス
 ヘシト云フ説ナリ然リト雖ハ一般ニ之レヲ許
 ス可シト云フニアラズ
 婦ノ商事ヲ許シテ夫ノ困難ナルトモアリ夫ニ
 テ許サスシテ婦ノ困難ナルトモアリ
 前條ノ如キハ婦ノ困難ナル場合ナリ婦ニテ妓
 院ヲ營スル等ニテハ夫ノ名譽ニ関ハリテ夫ノ

困難トナルトアリ實地ニ於テハ雙方ノ説ニ於
 テ甲乙ナシ法律上ニ付テ論スルトキハ文字上
 ニ合スル方ノ説重ク且ツ強シ
 此説ニ於テハ人々好ム所ノ説ヲ取リテ可ナ
 リト雖ハ佛國ニテハ後來後ノ説ニ屬スベキナ
 リ
 婦ニテ夫ノ商事ヲ助ケテ店ニ出テ物ヲ賣リ且
 使ヲ為ス等ノモノアリ其モノ、為ストハ總テ
 夫ニ関スルナリ之レヲ商婦ト混スベカラズ
 以上ハ許諾ヲ與フル方法ヲ説キタリ以下ハ許

諾ヲ與フレハ何レノ義務ヲ生スルヲ説カント
 ス
 第五條ニ云フ所口ハ幼年ノモノ、商人ト爲
 タルト同ジク婦ノ商人ト爲リタルモノハ商事
 ニ関スルトハ何事ヲモ為ストヲ得ルナリ
 民法第二百二十條ト商法第五條ト同レ文ナリ
 然リト雖モ商法ノ第五條ニ謂フ所口ノ手續ヲ
 以テ商人ト爲リタルトキハ民法第二百十七條
 ノ一事毎トニ許諾ヲ受クルニ及バズトス
 幼年ノ商人ハ不動産ヲ質入ト為ストヲ得ルト

雖モ之ヲ賣ルトヲ得ス第七條ニ云フ婦ノ商人
 ハ之レヲ賣ルトヲ得ルハ不能力ノモノト異ナ
 ル所口ナリ
 不動産ヲ賣却スルトヲ得ルト云フトモ亦賣却
 スルトヲ得サルモノアリ
 嫁資分括ノ法ニ從ツテ契約ヲ為シタルモノハ
 之レヲ賣ルトヲ得サルナリ
 此不動産ハ夫モ賣ルトヲ得ス法律ニハ記載ナ
 シト雖モ其他ニ賣ルトヲ得サルモノアリ嫁時
 ニ他人ヨリ贈リタル不動産之レナリ

高婦ハ夫ノ許諾ヲ受ケタルトキハ何事ヲモ為
 シ得ル又財産ヲ自由ニスルヲ得ル
 然レドモ商事ニ関シタルトナリトモ訴訟ヲナ
 ストヲ得ス原告人トモ被告人トモ為ルヲ得
 民法第二百十五條ニ夫ノ許諾ヲクシテハ裁判
 所へ訴訟スルヲ得サルヲ記シテアリ
 民法第二百十八條ニ夫ノ許諾セザルトキハ裁
 判所ヨリ之レヲ許可ストアルナリ
 前キニ謂フ所ノ商人トナルノ許諾ハ裁判所

ヨリ之レヲ許ストヲ得スト雖民法第二百十
 八條ノトハ一事ニ付テノトナルユヘ裁判所ヨ
 リ許可スルモノナリ混スベカラズ
 既ニ夫ニテ婦ノ商事ヲ為ストヲ許諾セシ上ハ
 總テ夫ニ關スルナリ
 財産ハ夫ノ私有金夫婦共通ノ金婦ノ私有金
 此ノ三ツノ財産アリ
 商事ヲ為スニハ此三ツノ財産ニ関スルナリ
 此レハ商事ヲ廣クスル為メナリ衆人ニテハ右
 ノ如ク金ヲ多ク有スルユヘ慥カナリト思考

シテ商事ヲ取組ムナリ
 財産不共通ノ夫婦ハ格別ナリ婦ノ為スルニ付
 テハ夫ノ財産ニ関セズ
 幼年ノモノヘ與ヘタル許諾ヲ奪フ如ク婦ニ與
 ヘタル許諾ヲ夫ニテ奪フヲ得ル
 其手續ハ法律ニ書イテ無シト雖モ之レヲ奪ヒ
 タルトハ遍ク世上ヘ流布スル為メ新聞紙ニ記
 載シ又ハ裁判所ヘ貼出スル等ノトヲ為スヘキ
 ナリ

第四會 明治七年十月二日

第二卷 商業簿冊ノ事 第八條ヨリ第十條ニ至ル

今日ハ商業簿冊ノトヲ説カントス

商業簿冊ハ法律上ヨリ所持スルノモノニテラス
 自己ノ記憶ノ為メナリ

法律上ヨリ簿冊ヲ所持セシムルハ其目的三ツ
 アリ第一ノ目的ハ過日説キタル如ク人々ヲシ
 テ信用セシムル為メナリ

第二ノ目的ハ其取扱ノ事柄ノ次第ヲ見ル為メ
 ナリ日ヲ追ツテ書キ入レル等ナリ

第三ノ目的ハ事柄ノ證據ト為ルタメナリ事アレハ何時ニテモ之レヲ持出シテ證據トス
 法律上ヨリ商人ノ商業簿冊ヲ所持セザルモノヲ罰スル^トハ商法^コードノ第五百八十六條ト
 第五百九十條ニアリ
 第五百八十六條ニ商人ニテ簿冊ヲ所持セザレハ身代限トナル^トヲ云ヒタリ
 此身代限ニ^ニツアリ
 第一ハ通常ノ家資分散ナリ
 第二ハ詐偽ノ身代限リ即チ倒産^ハナリ

第五百八十六條ハ簿冊ヲ所持セザルモノヲ云フナリ第五百九十一條ハ簿冊アレ^ハ之レヲ抽キ挿シスル等詐偽ヲナシタルモノナリ
 此ニツハ刑法ノ罰アリ
 其他ニ^一ツノ罰アリ
 商法^コードノ第十三條ニ云フ所^レ之レナリ
 訴訟一方ノモノ、簿冊ニ記載スル事ノ詳密ナラザルモノハ負ケトナルナリ
 之レハ罰ノ其身上ニ關スルモノナリ
 第二ハ商法第十七條ニアリ

譬へハ訴訟雙方ノ内一方ニテハ簿冊ヲ詳記セ
 ス
 其時他ノ一方ノ詳記スルモノヨリ君ノ簿冊ニ
 ノ此事ハ書記セザルヲ得スト云フトモ一方ノ
 モノ其簿冊ヲ出タサ、ル片ハ裁判官ニテ其簿
 冊ニ詳記セシモノヲシテ誓ヒヲ為サレム
 既ニ誓ヒヲ為セハ其事ハ誓ヒヲ為シタル如ク
 之レヲ裁判ス
 誓ヒトハ此事ハ之レニ違ハズト云ヒテ誓フナ
 リ

簿冊ヲ所持セザル可カラザルトハ大ナル商モ
 小ナル商モ總テ同シ

簿冊ニ種類アリ

第一ニハ日用簿冊ナリ

右ハ第八條ニ云フ如ク出金入金其他日々記入

尤モ日用民際ノトヲモ記入ス其日用民際ノト

ハ一ヶ月ヲ總括シテ書入レルモ妨ケス家資分

散等ノ時活計入費ノ大数ヲ見ル為メナレハナ

リ一日ノ菜料ニ日ノ米價ナト商法ノ分ハ順序
 明細ニ書キ入ル、モ煩ハシ

ヲ追フテ日々毎ニ記入セザル可カラス
 日用活計ノ費用額ヲ記入スルハ第一ニ家資分
 散ノトキ商事ニ関セサル入費ニテ有金ノ額ヲ
 見ル為メリ
 第二ニ其人ノ品行ヲ見ル為メナリ其身代ニ付
 キ何程ヲ活計ニ費用スルヤ儉勤ナリヤ又ハ浪
 費ナリヤヲ見ルニ足ルナリ
 簿冊ヲ詳細ニ記載スルトキハ第一ニ事ノ起リ
 タルトキノ充分ナル證據トナルナリ
 若シ其簿冊ノ記入粗漏ナルトキハ人ノ為メニ

ハ證據トナリ我カ為メニハ害トナルナリ
 第二ニハ書翰ノ簿冊ヲ作ラザル可カラズ他人
 ヨリ送り来ル書翰ハ簿冊ニ日ヲ追テ寫シソレ
 ノミナラス其書翰ノ本書ヲ保存シ置クナリ
 第三ニ總計帳リブルミナールナリ
 商人ハ自己ノ動産不動産并ニ出入金ノ總會計
 ヲ一ケ年ニ二度許ナスナリ其目錄ヲ記入スル
 簿冊ナリ
 第九條ノ原文ニ(私ノ書付ケヲ以テ會計目錄ヲ
 作ル)トアリ

元來私レノ書キ付ケト公ケノ書キ付ケトニタ
様アリ

私レノ書キ付ケハ自己ノミニテ之レヲ記シ公
ケノ書キ付ケハ公證人ノ面前ニテ之ヲ記スル
ナリ

相續婚姻等ノ民事ニ関スル總會計ニ付テハ公
證人ノ面前ニテ公ケノ書キ付ケヲ以テスト雖
凡商事ハ人ニ廣ク知ラシムルニ及バズ私レノ
書付ケニテ可ナリ

問一此私レノ書キ付ケハ公ケノ書キ付ケト

同ジ權ヲ有スルヤ

答 公ケノ書キ付ケト同シキ權ハナシ他人

ヨリ其偽作ナルヲ訴ノルトキハ消滅スル

ナリ

簿冊記入ノ法方ニツアリ内方ノ法アリ外方ノ

法アリ

以上三箇ノ簿冊ハ惣テ日ヲ追ツテ記入スルモ

ノナリ

事柄ヲ陸續シテ剝白空行ナク之レヲ記入スベ

レ且ツ欄外ニ記スルヲ得ス

萬一誤記アルトキハ之レヲ順次ノ末ニ記入ス
 譬ヘハ去月ノ十日ニ誤リタルモノヲ本月二日
 ニ見出シタルトキハ即チ其見出シタル二日ノ
 所ニ記入シ置クナリ但シ見出シニ第何日ヲ
 見ルベシト書ク

問 譯本第九條中云々ノ目錄トハ何ヲ云フ

答 目錄ハ勘定書キ付ケノヲ入リ
 第九條元書直譯

〔動産不動産且ツ貸金借金ノ惣算用毎年自己

ノ書ニテ之レヲ作り其目錄ヲ別段作りタル
 帳面ニ寫シ留ムヘシ

日ヲ追テ記入スル刺白ナク書記スル等ハ詐偽
 ヲ防ク内法ナリ
 又詐偽ヲ防クノ外法アリ
 此外法ニ四ツノ手續アリ

第一一葉毎ニ一二三ノ符號ヲ付ス

此符合ヲ付スルノ目的ハ簿冊ノ紙ヲ抽キ挿シ
 ノ為ラザル為メニ爲ルナリ

第二一葉毎ニ裁判所ニ關スル官員ハ姓名ヲ略

署ス其法方ハ官員ノ姓ノ頭ノ一字ヲ記入シ右ノ目的ハ縱令ヒ一二三ノ符號アリトモ其同シ符號ノ紙ヲ以テ抽キ挿シテ為ストテ得ル仍テ姓ノ頭字ヲ記入スルモハ其詐偽ヲ為スト能ハス

第三以上ノ手續ヲナシタル上其簿冊ノ前又ハ後ハ裁判關係ノ官員之レヲ檢查シタル上何某ニ渡スト記ス

第四第十條ニモ同シ様ノテ一冊中ニ十枚ナリ二十枚ナリ一ケ年中ノ付ケ込ミノ終リニ

之レヲ為ストナリ

之レハ第十一條ノトトハ違フナリ十一條ハ新簿冊ヲ渡ストキノトナリ

毎年ノ終リニ檢查ヲ為ストハ又目的アリ今年ノ簿冊ト昨年ノ簿冊ト誤ラサル為メニ之レヲ為ストナリ

一冊コトニ檢印ヲナスモノハ第十一條ニ云フ如シ

高法裁判所無キ地アリ又有リテモ多事ニテ困難ナルアリ仍テ右夫々ノモノニテ之レヲ為ス

通常ノ法式トハ裁判所ハ裁判所ノ法式アリ邑
 長ハ邑長ノ法式アリ夫々ノ法式アルナリ
 商人ノ義務ニ於テ以上ノ簿冊ヲ十年間存レ置
 ク可シ
 十年以外タリトモ證トハナルナリ
 然レ氏十年以外ハ存セサルヲ得サルノ法則ニ
 ハアラス
 前ニ云フ三箇ノ簿冊ハ所持セザルヲ得ザルナ
 リ
 其他大簿冊ガランリーズナルモノアリテ商人各人所持スル

ナリ
 之レハ何某々ト人ヲ以テ部類ヲ分カチ之レ
 ヲ製ス
 譬ヘハ其一人ノ部中右側ハ出方左側ハ入方ト
 記ス一日瞭然タル簿冊ナリ又金函簿冊リブルドケースアリ商
 人之レヲ所持ス我カ金函ニ入ルモノ又ハ金函
 ヨリ出ツルモノ、ミヲ記ス
 之レヲ以テ金函中現在金何圓アルヲ知ル為メ
 ナリ
 此ノ如ク簿冊ハ夥多アリト雖氏之レ等ニテハ

出入貸借等ノ確タルコトハ不分明ナリ仍テ大簿
 冊ノ終リニ至リテ自己ノ部類ヲ設ケ置ク
 之レハ自己ノ貸借ヲ知ル為メナリ又自己ノ関
 係スル品物ヲ一箇ノ人ト見做シテ之レヲ記入
 ス

商事ノ品類ヲ五ツニ分カツ

第一商品

第二金函

第三受取手形

第四拂手形

第五損益

右一品々々ハ商事ニ関スル人トナシテ見ルナ
 リ
 譬ヘハ一助ナルモノヘ酒一石ヲ賣リタリ其時
 ハ大簿冊中一助ノ部ノ入ト云フ所口ニ酒一石
 ト記入ス

商品トアル所口ノ出ト云フ所口ヘ又酒一石ト
 記入ス

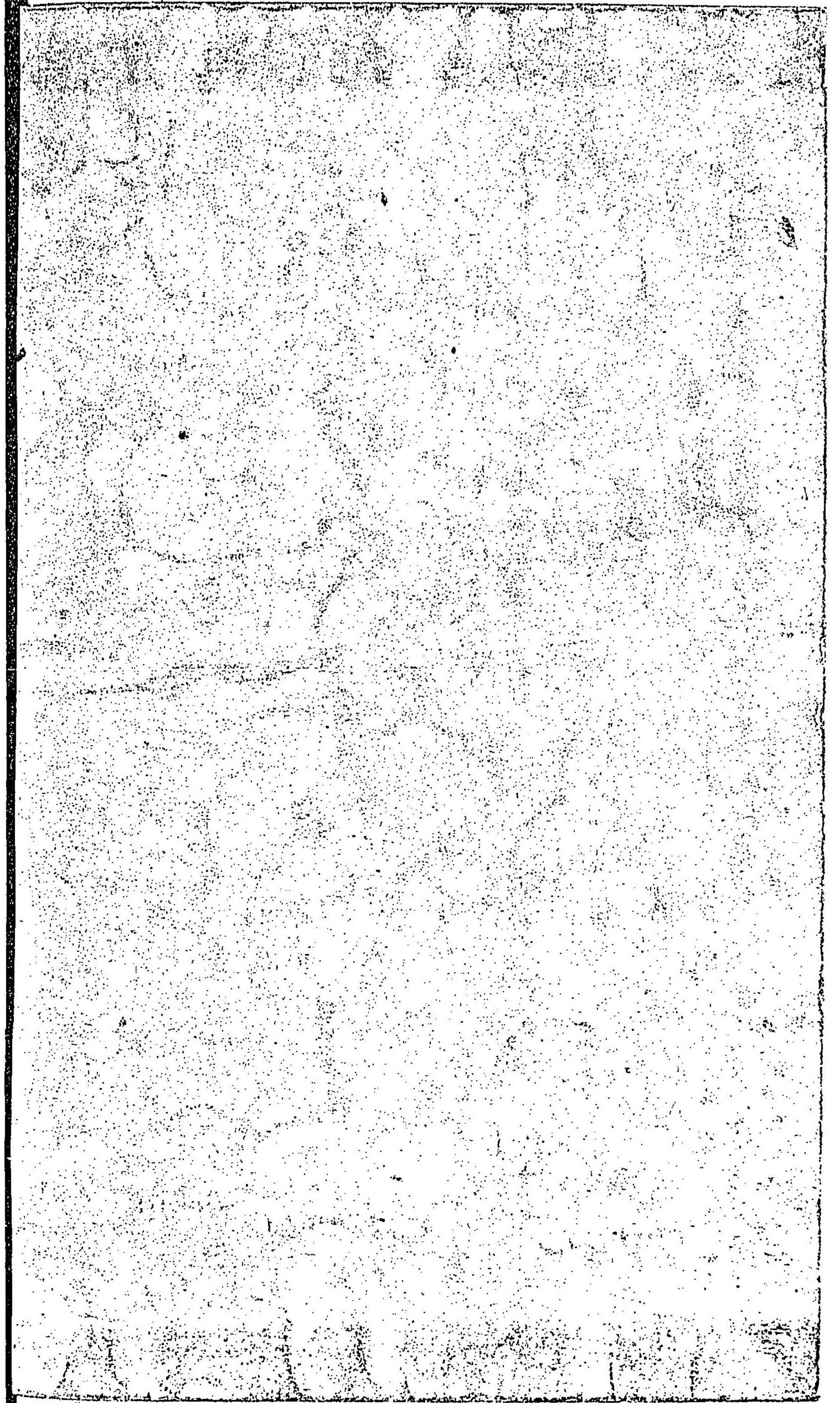
商品又ハ金函等ハ一人ノ人ナリ其中出ト入ト
 ニツニ分カルナリ其入リノ所口ニ酒一石ヲ買

ヒタル片ハ其金函ヨリ代料ヲ出ヌユハ金函ヨ
リ借リタリトナス
之レニ反シ賣リタルトキハ金函へ貸シタリト
ナスナリ
右ハ大簿冊ノ末ノ方ニ設クルナリ之レヲ記簿
法中ノ復記ノ法ト云フナリ
之レ決シテ間違ヒノナキ記簿法ナリ
一助ニ酒一石ヲ賣レハ一助ノ部ノ入リへ記入
ス又出ハ金何程ト記入ス又金函ノ入リハ酒一
石何圓ト記入ス

右ノ如ク彼是相ヒ照應スルユハ間違ナレ
簿冊ヲ記スル法ハ其誓古アリ詳密カラズト雖
モ大略ハ今説ク所ノ如レ
一事ヲ為レ了レハ必ラス損ト益トノ所ニ至
リテ之レヲ計算ス其時ニ至リ金ノ贏ルハ之レ
益ナリ
損ト益トヲニツニ分ケテアルナリ益ノ方多ケ
レバ我レニ入り来ル金アリ損ノ方多ケレバ我
レヨリ出ツル金アルナリ
一品ヲ一人ノ人ト見做シ入リノ多キ人ハ自己

ヨリ金ヲ貸スモノナリ出テノ多キ人ハ自己ハ
金ヲ借ルモノナリ
大ナル商人ハ何程ノ賣買アルヤハ分カラサシ
此五ツノ品類ヲ以テ分カシトキハ一目瞭然
タルナリ

佛國商法講義卷之一終



佛國商法講義

特69

38

035413-001-5

特69-38

仏国商法講義

ジョルジ・ブスケ/述

M8

BBO-0599

